

北海道  
教区時報

第233号

発行所  
札幌市中央区北3条西19丁目  
(郵便番号 060-0003)  
北海道教区教務所  
電話 011-611-9623  
編集 北海道教区教務所  
発行人 黒田 正宜

各会場で  
お待ちしております  
おります。



前進座特別公演

志村智雄 / 作・演出

きさらぎのはな

くじょうたけこ

九條武子夫人九〇回忌お待ち受け企画 (2017)

如月の華

— 九條武子ものがたり —

私の夢と願いは  
きつと阿弥陀さまが...

九條武子・今村文美



柳原白蓮  
小林祥子



女中六  
西川かずこ



九條良致  
河原崎國太郎



木辺孝慈  
武井 茂

〔後援〕 浄土真宗本願寺派  
浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟  
後援／京都女子大学 京都女子学園同窓会・藤陵会 社会福祉法人・あそか会  
推薦／真宗高田派 真宗木辺派 公益財団法人・全日本仏教会 公益財団法人・仏教伝道協会

P2. キッズサンガサポーター  
研修会報告

P3. 如月の華—九條武子  
ものがたり—ご案内

P4. 連研のための研究会報告

P5. 第1連区布教師研修会報告  
第13回全道仏壮大会報告

相馬組追悼法要報告  
温泉説法報告

P6. 北海日誌／常例線一覧



## 第2回キッズサンガサポーター 研修会協議会開催報告について

去る、2月23日(月)教化センター札幌別院1階ホールにて第2回サポーター協議会研修会が参加者20名で開催されました。

まず、子ども・若者ご縁づくり推進室の松月博宣マネージャーより経緯説明が行われました。

・「ご縁づくりはこれまでのキッズサンガと変わらないが、乳幼児や青年層がこれまでは抜けていた。

・この運動の理念(目的)は宗制と同じである。即ち、「自他共に心豊かな社会の実現」である。

「心豊かな社会の実現」である。「心豊かな社会」とはと少し考えると、お金が「ある」「ない」「この「ない」を数値的に表すと「0」。「0」を抜かしたら「1」即ち自分のことしか考えていない」と言うことである。分かり易い言葉で言うと「おかげさま」と言えるようになってもらいたい。

・目的に向かうための目標はリーフレットにもあるが、「手を合わせ念仏する人になってもらいたい」である。



・そしてそれらを達成するための計画である。まず現状分析が必要である。私はこれを「棚下げ」という。自分たちのことを「棚上げて」話を進めるのではなく、私自身が変わっていかなければ達成できない。

・現状分析をすると、世の中の人は生活の中で「お寺」を必要としていない。そのことに私たちは腹を据えて行かなければならない。仏教に興味はある方はいるが、お寺にはない。

・さらに現代では、家族体系まで

変わってきた。「大家族↓核家族↓家族の中で個別化」となってきた。この時代に私たちは手を合わせお念仏する「ご縁」を「かけ」を「作る」作業からしていかなくてはならない。ご縁を1つでも作ったならば、それを「つなぎ続ける事」をしていく。これが活動計画である。「ご縁を『作り』『つなぎ続ける』」ことを1人1人にしていくことが「子ども・若者ご縁づくり」である。

・キッズサンガは始めからミスリードでアナウンスをしてしまった。誠にすみません。



・リーフレットに「3つのかたち」があるが、お念仏を広げていくには家庭が一番だ。ということももつともつとメッセージを送っていかないと行けないのではないだろうか？地方の大学や就職で親元を離れる際には「ご本尊」を送ったりしていかなくてはならない。皆さんはやっているだろうか？寺族の方々の意識がなければ門徒さんはやらない。

・子どもが集まる場所に大人の背中を見せることである。私達もおじいさんやおばあさんに手を引かれてお寺に行っていた。

・キッズサンガをさらに進めていくために「子ども・若者ご縁づくり」として。乳幼児を含め、中学生、大学生、社会人に至るまでご縁をつなぐという事である。

### ②全体協議会

・保険はどのようになっていくのか？

↓来年度は宗派より全寺院対象に○を付けていたただけのアンケートを実施する。その寺院数により保険を掛ける。

### ・北海道教区の取り組みは？

↓北海道教区の取り組みとして、活動計画を明示しサポーターの役割を明確化させた。各組の活動を



報告書として出していただきたい。組キッズサンガ部門等無いと思うが、幼少年部などでも良いので是非お願いしたい。

### ・空知南組での実施報告

↓キッズサンガ部門として地元  
の大学生と一緒に作成したものを  
お配りしますので、今後欲しい方  
は販売いたしますのでお申し付け  
下さい。

・「子ども・若者ご縁づくり」は  
寺院のベースであるように感じ  
る。しかしその大切さが 伝わり  
切れていない。

松月先生：北海道はサポーターに  
組長さんはいっているのですが、協  
力して進めて行って欲しい。人と  
人で伝わるのである。半径5mの  
方々に皆様も伝えていって欲し  
い。

・組への報告について、今まで文  
字面だけで“いいことだなあ”と  
思っていたものが、先生のすべて  
のお話を聞いて腑に落ちた。

### ・宗派の動き

①今年の夏に「全国高校生の集い」  
を沖繩で開催し、平和問題などに  
ついて感じてもらいたいと思っ  
ている。出来れば各教区3名、寺族  
以外が好ましい。  
そしてその子達が帰ってきたとき  
のフォローを皆さんでやっていた

だきたい。

②思春期の公開講座を6月3日  
に本願寺で、9月30日に築地本願  
寺で開催する。

### ③消しゴムはんこづくり

諸行無常ズをお迎えして消しゴ  
ムはんこを作りました。

始まる前には麻田弘潤（新潟教  
区元上組極楽寺衆徒）さんのお話  
があり、諸行無常ズ結成の経緯や  
青年層へのアプローチ、震災のお  
話しなどをしていただき研修に移  
りました。

津久井智子（消しゴムはんこ作  
家）先生の指導を聞きながら全員  
が夢中になってはんこづくりを行  
いました。最後には各テーブル毎  
に、一枚の色紙  
に自分達で彫つ  
た蓮の花と先生  
が用意した阿弥  
陀様の立像を押  
して綺麗に仕上  
がりました。



## 『如月の華』―九條武子ものがたり―開演迫る

この舞台は2017年に九條武  
子様90回忌お待ち受け企画として  
「前進座」が企画し、宗派や仏教  
婦人会総連盟をはじめ多くの後援  
のもと行われます。北海道教区と  
しても教区仏教婦人会連盟ととも  
に後援させていただくものです。

九條武子様は、本願寺第21代明  
如ご門主様の次女として京都で生  
まれ、大谷簗子裏方（大谷光瑞夫  
人）を助けて仏教婦人会を創設し  
ました。また、京都女子学園、京  
都女子大学を設立し、関東大震災  
で自身も被災しましたが、一命を  
取りとめ、全壊した築地本願寺の  
再建、震災による負傷者・孤児の  
救援活動、「あそか病院」の設立  
などさまざまな事業を推進されま  
した。

北海道においては、武子様は5  
回も来道されておりその旅程は長  
期間かつ広範囲であったそうで  
す。当時の玄関口である小樽や函  
館からほぼ全道を周られて、女性  
教育の重要性和婦人会設立のため  
に講演等を行っていたそうです。

（参考資料『九條武子 北の無憂  
華』）

すでに、全国各地で上演されて

おり、好評を得ています。  
是非お誘い合わせの上お近くの  
会場にご参加下さい。

6月10日(水) 札幌市教育文化会館	お問合せ：北海道教区教務所 (TEL: (011) 611-9623)
6月11日(木) 旭川市民文化会館	お問合せ：天寧寺 永江雅邦 (TEL: (0166) 48-1034)
6月13日(土) 釧路市・まなぼと幣舞	お問合せ：常龍寺 (TEL: (01547) 6-2543)
6月15日(月) 帯広市民文化ホール/小	お問合せ：本願寺帯広別院 (TEL: (0155) 23-3720)
6月17日(水) 北見市民会館	お問合せ：常楽寺 (TEL: (0152) 54-2074)
全会場 14:00開演 (開場 13:30)	

尚、5月11日(火)に予定されている仏教婦人会、寺族婦人会合同総会研修会では、  
九條武子様のご生涯について研修予定となっております。併せてご参加下さい。



## 連研のための研究会開催

去る、2月15日(日) 空知北組常楽寺(山本徹兼任職)並びに秩父別温泉「ちっぷ・ゆう&ゆ」にて参加者10名で開催されました。

今回の研究会は未開催組向けに、実際に連研をみていただき、その後、協議会を行い連研開催へ向けての意識を高めていただくことを目的としました。

まず、空知北組第11期の連研を見学し、実際の流れと話し合い法座の様子を見学させていただきました。その後、連研中央講師の辰田真弥(空知南組報恩寺住職)さんから「連研とは」として、連研ノートEの説明も踏まえ講義いただきました。

辰田講師からは「連研は単に社会問題を取りあげるのではない。課題に向き合っていく話し合い法座である。み教えを聞いていく、み教えに聞いていくものである。また、僧侶が話し合い法座に慣れていない現状がある。門信徒とともに聞きあつていくのが話し合い法

座である。開催時には、開催目的の確認、スタッフ間での共有が大切である。また、担当講師だけが勉強するわけではなく、そこに関わる全員で取り組んでいくものである。法座の問いが私にとつての問いになつていかなければならない。

問題提起では十分な問題提供を行い、あとから「こうだったのだ」と後出しじゃんけんをしてはいけない。

まとめでは、答えを出さない。1つの共通した答えを出すのが連研の目的ではない。自身に問い続けていく在り



方が大切なのである。「こうである」という、まとめ

ではなく私自身に問い続けていくということだ。そのために講師は「私は」と主語をつけてさらけ出していくことが大事だと思う。」と講義いただきました。

その後の全体協議会では多くのご意見を頂きました。

・連研の新聞が効果的だと感じました。

・問題提起でどこまで踏み込んでいけばよいのが難しいと感じました。

・講師は勉強が大事だが、連研の講師でしか出来ないこともある。



思った。少数でも坊守さんなど声掛けをしても出来ると思つた。(意見一部抜粋)

また、未開催組の方より講師や開催している組の方々へ実情や不安など開催へ向けた思いを全体で共有することが出来ました。

最後に講師より「連研の目的は門徒推進員の養成ということは何も伝えて行かなければならない。未開催組の方々は、スタッフ3人、参加者8人いれば出来るので、まずは3人の仲間を作ることからだと思います。私は門徒推進員さんに「任職相談してくれ」と言われた。僧侶と門徒の枠を超えることが出来たと思う。連研へ対してのやる気だと思つた。中央講師なども道内にはいるので、そういう仲間がいるということには忘れないで欲しい。」とまとめられました。



空知北組第11期連研の皆様と



## 第一連区青年布教使 研修会開催

去る、2月9日(月)～10(火)、教化センター札幌別院にて、第一連区青年布教使研修会が開催されました。本研修会は、北海道教区が担当となり、企画を進めました。「ミニ任職課程」を内容の中心に据えて、若手の布教使が布教に対する当時の熱い気持ちを思い起こしていたらこうと、企画しました。ご講師には、元任職課程専任講師の安方哲爾師をお迎えし、「現生正定聚」について、ご講演をいただきました。

2日目には、各教区若手布教使1名づつ、「現生正定聚」についての、布教を演習いただき、ご講師より講評をいただきました。伝道院にて講師より指導され

た、若手布教使も多く参加されており、厳しいながらも、ぬくもりのある講評に、当時の状況を思い起こして

おりました。講評は、「布教作法」「布教内容」「声」と多岐に渉るご指摘をいただき



き、実演をされた布教使のみならず、参加者全員が布教のあり方を学びなおす研修会となりました。

## 第13回北海道教区仏教 壮年研修大会開催

去る、2月21日(土)より22日(日)、札幌パークホテルにて第13回北海道教区仏教壮年研修大会が開催されました。

このたびの大会は札幌組が担当となり、企画、運営をすすめていただきました。

ご講師には、大阪教区の釈徹宗師をお迎えし、「語りの力」と題して、ご講演いただきました。

その後、浪曲師の春野恵子師より、浪曲の演奏、講師との対談があり、「語り」の持つ力を感じる事が出来ました。

2日目は、落語家の桂雀々師より、落語の公演があり、落語の持つ、深い世界を参加者は堪能いたしました。

2日間で、420名の参加をいただき、盛会の中、事故なく終了いたしました。



## 相馬組東日本大震災 追悼法要支援

北海道教区重点プロジェクト「災害支援」の活動の一環として、3月1日、相馬組常福寺(原町)にて厳修される「相馬組東日本大震災物故者追悼法要」を支援させていただきました。

法要支援として、宗派勤式指導所より、奏楽員が出勤し、法要に雅楽を供えました。

また、北海道教区としての支援活動として、牛乳・甘酒の炊き出しをいたしました。炊き出し支援スタッフとしては、4名でありましたが、法要に参拝された方々と、震災当時の状況や今の状況について、お話をいただきました。また、東海教区額田組より、「みそおでん」の支援もあり、協力をし、炊き出しをさせていただきました。

法要終了後、浪江町を視察し、震災当時から復興が進んでいない現状を目の当たりにしました。



## 温泉説法の集い開催

去る3月3日(火)から1泊2日で、登別温泉第一滝本館にて北海道教区青年僧侶協議会(迎西智恵会長)主催の「温泉説法の集い」が行われました。

今回で26回目を迎えた温泉説法は道内各地から43ヶ寺、300名以上の参加者が集い、「響流・自然のなかで生きる」を大会テーマとして開催されました。

初日は新しい形の伝道の試み、漫才説法が行われ、3組の演者が会場に笑いとみ教えを届けました。夜には懇親会が開かれました。参加寺院のご当地土産の抽選会やクイズを通し、参加者は親睦を深めました。

2日目はお朝事後、教区内の仏教青年会員と青年僧侶協議会メンバーによる朗読劇「北の国では2015・自然」が上演されました。北海道を舞台にしたドラマ「北の国から」を題材とし、大会テーマにもある「自然」という言葉を通し、仏教のみ教えを味わう朗読劇でした。多くの参加者がハンカチで目頭を押さえながら観劇し、終了後は出演者に大きな拍手が送られていました。

最後に北見東組佛願寺住職の松平慶慶さんがご法話をされ、2日間の日程を終了しました。

参加された皆さんは心と体をリフレッシュすることができたようです。



▼北海日誌

【報告】

- 2月2日 Cブロック僧侶研修会パイロット版(札幌)
- 3日 実践運動第3回僧侶研修部会
- 4日 実践運動第4回寺院活動支援部会
- 6日 仏教婦人会総連盟評議委員会(本山)
- 9日 第1連区青年布教使研修会(～10日)
- 14日 ビハーラ全国集会(～16日 本山)
- 15日 連研のための研究会(秩父別)
- 17日 第1連区職員研修会(～18日 札幌)
- 18日 仏教青年連盟推進者研修会22(～19日 本山)
- 20日 第2回常例線協議会
- 21日 全道仏壮大会(～22日 札幌)
- 23日 第2回キッズサンガサポーター協議会  
僧侶研修部会 教学部門会議  
僧侶研修部会 布教部門会議
- 25日 矯正管区理事会
- 27日 実践運動 第7回常任委員会
- 3月1日 相馬組追悼法要(福島)
- 3日 温泉説法の集い(～4日 登別)
- 4日 保育連盟理事会
- 6日 第2回常備会
- 7日 仏教壮年会理事会
- 9日 宗教者懇談会
- 10日 実践運動第5回社会部会
- 12日 第2回得度習礼講習会(～13日)
- 13日 実践運動第4回僧侶研修部会  
実践運動常任委員会(本山)
- 15日 布教団連合総会(本山)
- 16日 教務所長・宗務長・輪番・主管合同会議(本山)
- 17日 全国教区会議長会(本山)

- 25日 定期教区会  
実践運動部長会議
- 26日 第40回少年リーダー研修会(～27日)
- 27日 実践運動 第8回常任委員会  
実践運動 全体会
- 28日 仏教章のための学習会・研修会(～30日)
- 30日 組長会
- 31日 連研履修者研修会(紋別)

【予定】

- 4月3日 実践運動第1回門信徒教化部会
- 9日 寺族婦人会役員会
- 13日 真宗教団連合拡大委員会
- 14日 保育連盟理事会  
保育連盟総会
- 17日 仏教婦人会総連盟総会(～18日 本山)
- 24日 実践運動第1回寺院活動支援部会  
仏教婦人会連盟会計監査
- 29日 仏教壮年会総会・研修会
- 5月11日 仏教婦人会連盟総会・研修会
- 16日 まことの保育入門セミナー
- 22日 真宗教団連合第43回研修会
- 27日 世界仏教婦人大会(～6月4日 カナダ)
- 6月2日 第1連区布教団研修会(～3日)
- 6日 ほよ～ん相談会(～7日 福島)
- 8日 得度習礼講習会(～9日)
- 17日 浄土真宗青年僧侶連絡協議会理事会
- 18日 浄土真宗青年僧侶連絡協議会フットサル大会
- 7月6日 Aブロック総代研修会(胆振組担当)
- 25日 全国保育大会(～26日 札幌)
- 10月29日 Bブロック総代研修会(宗谷)

※予定は変更となる場合がありますのでご了承下さい

北海道教区常例布教日程(予定)

敬称略

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(安芸教区・沼田組・法隆寺) 森岡 惠隆	(熊本教区・益東組・教尊寺) 大道 修	(福岡教区・東筑組・昭然寺) 河野 一声	(北海道教区・空知北組・光明寺) 三栗 得生	(鹿児島教区・出水組・大昭時) 植松 泰尚	(北海道教区・釧路組・西光寺) 八村 弘隆	(兵庫教区・赤穂南組・法光寺) 簗城 順亮	(北海道教区・十勝組・真浄寺) 永田 弘彰	(北海道教区・京仲組・円成寺) 原 英太郎	(北海道教区・札幌組・覚英寺) 黒田 顕城	(兵庫教区・高砂組・善行寺) 網干 善一郎	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(東京教区・世田谷組・正法寺) 倉上 学	(北海道教区・十勝組・頭勝寺) 芳滝 智仁	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行
(大阪教区・島中南組・誓覚寺) 宮部 誓雅	(熊本教区・種山組・光澤寺) 源 明龍	(山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道	(熊本教区・熊本西組・両厳寺) 郡浦 智明	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(山口教区・美和組・超専寺) 村田 亜紀子	(熊本教区・託麻組・良覚寺) 吉村 隆真	(福岡教区・御笠組・願應寺) 中川 一晃	(福岡教区・早良組・西教寺) 森 哲人
(山陰教区・三瓶組・専勝寺) 金盛 徳照	(北海道教区・益西組・正寿寺) 旭 啓寿	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行	(北海道教区・留萌組・信楽寺) 吉川 昭恵	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(備後教区・沼隅西組・正円寺) 石川 知全	(北海道教区・後志組・無量寿寺) 朝山 明彦	(兵庫教区・赤穂南組・法光寺) 簗城 順亮	(兵庫教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(兵庫教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(兵庫教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 順生	(北海道教区・函館組・宣法寺) 渡邊 春龍	(北海道教区・十勝組・頭勝寺) 芳滝 智仁	(不死川 昌史)	(大阪教区・天野北組・明教寺) 未定

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。